

新潟県

看護協会だより

第132号

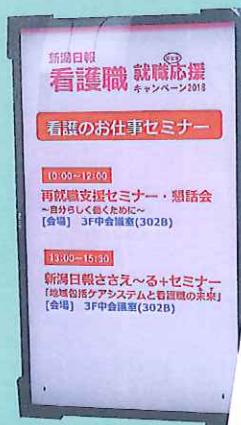
平成29年8月20日発行



2017年5月12日 「看護の日」事業が行われました
(会場 新潟グランドホテル)

CONTENTS

会長あいさつ	2
平成29年度『看護の日』事業	2
平成29年度 新潟県看護協会通常総会	3
職能トピックス	4~5
カンゴサウルス賞 受賞施設紹介	6~7
ナースセンターだより	8~9
新刊図書のお知らせ	9
平成29年度 看護協会の紹介	10
お知らせコーナー	11~12



2017年2月26日 就職ガイダンスが行われました
(会場 朱鷺メッセ)



公益社団法人新潟県看護協会
会長 奥村 麗子

会長就任挨拶

日ごろから看護協会活動に対し、多大なるご協力とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。このたび6月14日の本会通常総会の役員改選で会長の職務を担うことになりました。佐藤前会長からバトンを引き継ぎ、心新たにパワフルに事業に取り組む覚悟でございます。役員、職員はじめ、会員の皆様のご協力・ご支援をいただき、前進して行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

平成29年度新潟県看護協会通常総会においては、提出議案すべてご承認をいただきました。新年度も各事業において、着々と重点課題に取り組みはじめ、皆様のご協力で順調に推移している所でございます。今年度の新たな取り組みとしては、日本看護協会新規事業の看護職間のネットワーク構築事業を取り組みます。教育研修事業も5疾患5事業を取り入れた新しい研修内容を追加しました。また緩和ケア認定看護師教育課程が10月からスタートします。そして、教育研修システムならびにコンビニ収納システムは7月から導入し申し込みが可能となりました。是非、ご活用いただきたいと思います。

さて、新潟県においては、急速に進む少子高齢化を見据え、全ての県民が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、平成29年3月に新潟県地域医療構想を策定されました。看護を取り巻く状況も病院から在宅へと大きな変革の時代を迎えようとしています。これまでの病院完結型の看護の考え方から、地域でその人らしさを大切にした看護の視点でとらえることが必要です。

このような状況下で看護職が活躍する場は拡大していますが、県内の看護師不足は深刻です。新潟県内の看護関係学校養成所は22校、毎年多くの看護師が誕生しています。看護職の魅力は、若者のみならず保護者からも支持を集めています。しかし、どんなに素晴らしい職業であっても労働環境が過酷であっては、働き続ける事ができません。さらに患者像も複雑多様化し、それに対応するために看護職には高度な能力が求められ現場ではいろいろな問題を抱えています。

これらの問題を解決していくためには、看護職である私たちが職能団体として力を結集し行動していく必要があると考えます。課題解決のため、組織強化をしていきたいと思います。協会活動についてのご要望やご意見等をお寄せください。お待ちしています。

平成29年度「看護の日」事業

テーマ

「看護の心をみんなの心に」 日時 平成29年5月12日(金)／会場 新潟グランドホテル

市民公開 フォーラム

**特別講演 「地域包括ケア時代のよりよい
在宅療養支援に向けてつなぐ看護の実践」**

講師 角田 直枝

式 典

受賞おめでとうございます

日本看護協会長表彰

助産師 高島 葉子 様
看護師 田中 京子 様

看護師 深澤 つや 様
看護師 本間美知子 様

新潟県知事表彰

市川眞知子 様 (大島病院)
小畑 ゆみ 様 (長岡赤十字専門学校)
佐藤るい子 様 (元村上市役所)
菅原 順子 様 (元村上市役所)

井上 秀子 様 (元阿賀野市役所)
酒井由美子 様 (開業助産師)
重本ゆう子 様 (三島病院)
高橋かずえ 様 (開業助産師)

優良看護職員新潟看護協会長表彰 209名



平成29年度 新潟県看護協会通常総会

■日 時 平成29年6月14日(水) 9:00 ~ 12:00
■会 場 新潟グランドホテル
■参加人数 442人
■委任状 12,611人



平成29年度重点目標

1. 地域包括ケアシステムの推進に向け、看護職の役割を發揮する
2. 変化する社会ニーズに対応した質の高い看護を提供できる人材を育成する
3. 看護職が働き続けられる労働環境の整備を推進する
4. 支部の活動を推進し、組織強化を図る

職能集会



保健師職能集会

〈メインテーマ〉 「心を閉ざした当事者に対して、支援の糸口をつかむには」

〈演 題〉 「閉ざされた心と向き合う」
～保健師の『説得力』『支援力』アップのために～

〈講 師〉 押川 剛 (株)トキワ精神保健事務所

助産師職能集会

〈メインテーマ〉 「未来につなぐ助産ケア」

〈演 題〉 「周産期のメンタルヘルスケア」
～すべてのお母さんと
子どもの幸せのために～

〈講 師〉 新井 陽子 北里大学看護学部 生涯発達看護学准教授



看護師職能集会 I・II 合同集会

〈メインテーマ〉 「看護師職能 I・II、共に考えよう、人間の尊厳」
～安全に暮らすための支援～

〈演 題〉 「身体拘束廃止と事故防止」
～決して縛らないをやりとおす～」

〈講 師〉 高口 光子 介護老人保健施設 星のしづく
看護・介護部長



保健師

職能トピックス

平成29年度 保健師職能活動報告

保健師職能委員長 相馬 幸恵

平成29年度活動方針については、昨年度同様(1)地域包括ケアシステム構築の必要性を認識し、保健師一人ひとりが、それぞれの立場で取組を推進する。(2)どの職域に所属していても、保健師の専門性の視点や役割を發揮できるようにする。(3)保健師の連携強化とネットワーク構築を図り、いきいきと元気に活動する。の3点を掲げました。

今年度の職能集会では、TBS水トク！のドキュメンタリー「THE 説得」でもおなじみの(株)トキワ精神保健事務所の押川剛氏をお迎えし、心を閉ざした当事者に対する説得力・支援力をアップすること目的に御講演いただきました。例年よりも多い77名の参加があり、日常悩みながら活動していることが多く関心の高さが窺えました。

講師からは、新潟県の現状を数値や過去に関わった事例を通しわかりやすく説明をしていただき、「介入困難な患者さんに介入するには、誰かが“悪役”にならないといけない。その“悪役”に必要なものは高度なコミュニケーションで、そのためにも徹底したヒアリング、視察、調査が必要」という具体的なアドバイスもいただきました。テレビで拝見するよりも優しい雰囲気でしたが、講演が進むにつれ、講師の熱いパワーに圧倒されるとともに元気をいただき大変好評でした。

保健師は、年々業務の分野も拡大し、健康課題も多様かつ複雑化が進む中、日々忙しい業務に追われていると思いますが、生まれてから最期を迎えるまで切れ目ない支援を提供できるよう、今後も保健師間はもちろんのこと、看護職間、他職種間の連携を強化した活動を目指していきたいと思います。



助産師

平成29年度 助産師職能活動報告

助産師職能委員長 小田 容子



1年間を通じてのテーマは昨年に引き続き「未来につなぐ助産ケア」として、課題に取り組んでいきます。助産は、母から子へ子から孫へいのちの繋がりをケアしていく事に他なりません。2017年は周産期のメンタルヘルスが大きく変わる年となりました。産婦人科診療ガイドラインの改訂、精神科疾患合併妊婦が「ハイリスク妊娠管理加算」の対象疾患へ追加され、「産後うつ対策として」産後2週間健診・1ヶ月健診の費用の助成が始まります。母親本人の自殺、子どもへの虐待や育児放棄、父親の産後うつ病などの不調を見つけ、施設と地域が連携し家族支援をしていく必要があります。

今年度の助産師職能集会は「周産期のメンタルヘルス～すべてのお母さんと子どもの幸せのために～」と題して、新井陽子 北里大学看護学部生涯発達看護学准教授より講演を頂きました。周産期うつ病のリスク因子、EPDSの解釈、予防的介入としての両親学級治療的介入の心理療法、薬物療法、対象を理解する基本的姿勢と支援など多角的に学びを得ることができました。具体的で分かり易く、直ぐに実践できる内容と好評を得ました。職能の講演や研修会は、直ぐにでも現場に取り入れることが可能であることが大切であると実感しました。

～お知らせ～

情報交換会 「助産力を発揮する 周産期のメンタルヘルスの支援」

日時：平成29年10月23日(月) 10:00～16:00 於 看護研修センター

内容：援助的コミュニケーション技法、妊産褥婦の語りを聞くことの必要性、面接の役割

是非 ご参加ください。

看護師Ⅰ

平成29年度 看護師職能Ⅰ活動報告

看護師職能Ⅰ委員長 田中 京子

平成29年度の看護師職能Ⅰ活動方針は「1. 看護師の職場環境改善に向けた実態調査及び時間外勤務の要因を調査する」「2. 看護職として働き続けるための支援を考える」「3. 支部会員との情報交換を行う」の3点を目標としています。

地域包括ケアへの取り組みは地区ごとに少しずつ進んでいます。そのため、看護師職能Ⅰは病院だけでなく地域へ目を向けた取り組みが重要ですが、そのためにも看護師として働き続け、やりがいを持って課題に挑むことも重要なと考えます。平成29年度看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同集会では高口光子氏を迎えて「身体拘束廃止と事故防止～決して縛らないをやりとおす～」について講演を頂きました。施設等では身体拘束は原則禁止されています。病院は安全管理のための身体拘束を余儀なくされており、心を痛めている看護師も多くいます。講演会は強い信念を持たれている高口先生に引き込まれていき、場内が涙に包まれました。今一度、病院の看護を考える機会となったと思います。

今年度の活動では看護師がアンガーマネジメントにより元気になれるような講演会を通して「働き続ける」をテーマに課題を発見し、共有する目的で意見交換会を計画しています。



看護師Ⅱ

平成29年度 看護師職能Ⅱ活動報告

看護師職能Ⅱ委員長 本間 美知子

平成29年度も新しい幕開けとなりました。平成24年度に立ち上げた看護師職能Ⅱも今年で6年目を迎えます。丸5年が経ち、社会的にも認知され何とか軌道に乗り職能団体としての役割を認識し活動できるようになりましたと感じています。

2025年を見据えての社会保障制度改革が加速しており、地域包括ケアシステムの構築と効率的な医療提供体制の推進が一層重要になる中、在宅・介護領域における看護を安定的に提供できる体制を整備することは、喫緊の課題となっています。改めて、「多死時代 家族・地域社会の状況に応じた看護の提供体制のあり方」については、地域の看取りで起きているさまざまな問題を明らかにするための研修や、訪問看護・高齢者ケア施設等の看護管理者への研修を企画し、職能Ⅱ領域の看護職の知識・スキルアップに寄与したいと考えています。そこで、今年度の看護師職能Ⅱの活動方針は以下の目標を立てました。

1. 支部職能委員との連携をはかり、看護師職能Ⅱ領域の問題・課題の抽出を行う
 2. 看護職の質向上のための研修会・勉強会を実施する
(地域包括ケアシステム構築に看護力として寄与する働きかけを行う)
 3. 看護師職能Ⅱ領域の看護協会入会者増加に向けた取り組み
- 以上これらの目標を実現する努力をします。6月14日に行われた看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同集会も皆様のご協力とご支援により大盛況に開催でき、講師の高口光子先生から、軸をぶらさない、やりとおす強い意志と熱意をいただきました。無事に集会が終了できましたことに心より皆様に感謝申し上げます。

7月8日(土)には職能Ⅱの今年度の研修会として「看取り」研修会を実施しました。参加者も80名近くあり、講師である石飛先生から「平穏死」の意義など、先生の今までの経験をもとに丁寧な語り口と穏やかなお人柄にひかれアッという間の時間が過ぎました。午後は施設等における看取りの現状についてグループワークがなされ、少しづつ「自然な死」の在り方を真剣に想い、考えている施設の拡がりに改めて研修の意義、大切さを痛感した次第です。委員8名で今年度も頑張ります。ご協力と応援をお願いします。



カンゴサウルス賞

平成 29 年度のカンゴサウルス賞を 4 つの施設が受賞されました

- ・日本赤十字社新潟県支部 長岡赤十字病院
- ・新潟労働者医療協会 下越病院
- ・医療法人泰庸会 新潟脳外科病院
- ・白根保健生活協働組合 新潟白根総合病院

受賞施設紹介



日本赤十字社新潟県支部 長岡赤十字病院

看護職の働き続けられる環境作りへの取り組み

長岡赤十字病院 看護師長 井木 優子

日本赤十字社の規定により育児支援制度が充実した反面、育児中の職員を支援する世代の負担が大きいことが懸念され、2014 年度から「看護職の WLB 推進ワークショップ事業」に参入した。超過勤務時間の削減、制度認知の指標がベンチマークに近づく、現在の働き方・生活に関する満足度の上昇の 3 つの目標を掲げ、病院幹部・労働組合と協働して取り組んだ。その結果、超過勤務時間削減は、不十分な部署もあったが全体では減少した。制度認知は目標達成した。「生活に満足」「働き方に満足」は全国平均を上回ったが、目標とした 60% に達しな



かった。そこで、夜勤負担軽減を含めた働き方の見直しが急務と考え、多様な勤務形態の導入に向けた取り組みを追加し中勤や変則 3 交代制の試行を実現した。WLB 事業に参入する事で労働環境について改めて考える機会となった。メンバーに労組を入れた事は実現への推進力となった。看護部が中心になってスタートした WLB 推進の取り組みは、現在、院内全体に波及し経営戦略として病院 BSC に取り組まれた。



新潟労働者医療協会 下越病院

カンゴサウルス賞 いただきました！

下越病院 総看護師長 松木 清美



一般急性期のめまぐるしい医療現場の中で病院の実態を把握し、働き続けられる職場つくりをしたいと 2014 年度より 3 年間、WLB 推進の取り組みを行いました。インデックス調査結果を活用し病院の現状、強み、弱みを分析し、看護部方針である「わたしたちは魅力ある職場を創造し優しさと安心の看護を提供します」の実現のために病院内推進委員会を管理部・看護部・労組と共に立ち上げ取り組んできました。病院内において WLB の大切さを知らせる取り組みから始まり、看護現場の業務実態調査、看護業務の整理と他職種委譲、WLB 改善に向け支援制度の周知をめざしたリーフレットの作成とワールドカフェの開催など行いました。定期的な看護協会のワークショップの場は他施設や担当推進委員との刺激的な情報交換の場としてたいへん有効でした。

1 年目から 2 年目にかけては離

職率が減少し有休取得率も上昇と成果が見られました。3 年目以降は看護師の業務負担軽減を目的に他職種との合同検討と業務委譲を中心に進め、合わせて看護のリフレクションや可視化の機会作り、PNS の展開、充実を現在も検討追求中です。これからも 1 人 1 人を大切に働き続けられる職場つくりを継続した課題として取り組んでいきます。



カンゴサウルス賞とは…看護協会の主催する看護職のWLB推進ワークショップに3年間取り組み、看護職の働き続けられる環境作りに励んだ施設に贈られるものです。

「カンゴサウルス」は、ワーク・ライフ・バランス推進を応援する「繁栄」と「変革」のシンボルです。



医療法人泰庸会 新潟脳外科病院



「カンゴサウルス賞」「特別賞 仮眠とれるで賞」を受賞しました

新潟脳外科病院 看護部長 水澤 里子

専門性の高い脳外科医療の提供には職員が定着して働き続けられる環境が必要であると考え、WLB推進ワークショップに参加した。

参加後、すぐにWLB推進委員会を発足し、活動内容を3つに大別して取り組みを進めた。1つ目は全職員に対してWLB推進事業の周知をするために病院の問題とWLB参加の意義について説明会を実施した。2つ目は急性期病棟の看護体制の変更と交代勤務の導入、業務整理と看護基準・手順の見直しを行うことで超過勤務時間を前年比30%削減することを目標とした。3つ目に休憩室・仮眠室の環境整備を行った。

3年間の活動の結果、①休床病床を2年で再稼働②看護職員必要数の確保③離職率の低下・超過勤務削減④新看護体制（PNS）と2交代制の導入と定着⑤教育体制の見直しとキャリア支援の確立⑥短時間正職員制度、失効年休積立制度の導入⑦ホームページの刷新、電子カルテ内に制度周知の項目を掲示⑧職員の「憩の場－展望Café」の新設などの8点を評価していただき、「カンゴサウルス賞」を受賞することができた。また夜勤の職員のために仮眠室の整備をしたことも認めていただき、同時に特別賞「仮眠とれるで賞」も受賞することができた。

白根保健生活協同組合 新潟白根総合病院

看護職の働き続けられる環境作りへの取り組み

新潟白根総合病院 看護部長 太田 優子

当院は医療生協を母体に「自然豊かなアットホームな病院」白根健生病院として1958年設立、地域医療に貢献してきました。2016年2月新築移転「新潟白根総合病院」と名称も変更し、より地域に密着した救急医療も担える病院(179床)として生まれ変わり一年を経過。振り返りますと、2014年療養型病院から急性期へと大きな転換を迫られる中、病院を知り、職員を知ることを第一の目標に新潟県看護協会WLB事業に参加。客観的に現状を把握し問題点を明確にすることで、病院が何かやってくれるのではなく一人ひとりが参加し思いを発信出来る意識改革を目指しました。初年度のアクションプランは組織づくり・周知活動の年、2年目は病院変革に沿った活動、3年目の今年は①自ら意欲的に仕事に取り組め安心して働く環境づくり②時間外労働の削減③計画的に有給休暇を取得できるとし、楽しくやりがいのある、やりたい看護が出来る、働きやすい職場づくりを目指し努力しています。



折々のフィッシュ活動

新潟県ナースセンターからのお知らせ

～ 看護の世界で再び輝くために ～ 平成 29 年度再就職支援セミナーが始まりました！

第1回 3日間基礎コース

開催日 平成 29 年 6 月 26 日 (月) ~ 28 日 (水)

内 容 「最近の看護事情」や「緩和ケア病棟」・「高齢者施設」・「訪問看護ステーション」で働く看護師の役割についての講義及び看護技術の演習

受講者 22 人 (年齢 30 代~ 60 代)

受講した方の感想

- 同じ状況の方々も多く、自分だけが不安に思っているのではないのだと実感しました。普段は看護師としての話がなかなかできないので、話を聞いたり、話することで安心感がうまれました。学生のような気分になり、楽しかったです。自分のやりたい看護を考えるよい機会になり、人生設計を考えたいと思いました。（40代 看護師）
- 現場から離れて時間が経っていたので、看護技術の一部を復習できること、看護の現状を多様な視点から学べたことは良かったと思います。今後、どのような道に進むかはまだ決めていませんが、看護を活かしながら、様々な職場で仕事ができるということを、本セミナーを通して認識しました。とても有意義な時間であったと感じます。ありがとうございました。（30代 看護師）



講義の様子



新潟大学医歯学総合病院看護部の方から丁寧に指導していただきました。（新潟医療人育成センターにて）

体験コースも開催中です。1日基礎コースもあります。
詳細は新潟県ナースセンターへお問い合わせください。
ホームページもご覧ください。

新潟県ナースセンター 電話 025-233-6011

新潟県ナースセンター

検索

ハローワークでのお仕事相談会

県内のハローワークにおいてナースセンターの相談員による就業相談会を開催しています。「ブランクがあり再就職に不安がある」「家庭と両立できる職場を探している」「今の職場で心配ごとがある」など様々な相談があります。ご利用お待ちしています。

相談は予約制となります。お申し込みは各ハローワークの窓口へ。

時間 13:30 ~ 15:30 (新潟 14:00 ~ 16:00)

場 所	9 月	10 月	場 所	9 月	10 月
ハローワーク新潟	9/25(月)	10/23(月)	ハローワーク新津		10/10(火)
ハローワーク長岡	9/14(木)	10/12(木)	ハローワーク十日町	9/12(火)	
ハローワーク上越	9/15(金)		ハローワーク巻		10/6(金)
ハローワーク三条		10/27(金)	ハローワーク村上		10/3(火)
ハローワーク柏崎		10/25(水)	妙高出張所	9/5(火)	
ハローワーク新発田	9/20(水)	10/18(水)	小出出張所	9/27(水)	

※県内のハローワーク（16カ所）で開催しています。

ナースセンターの相談窓口もご利用ください。

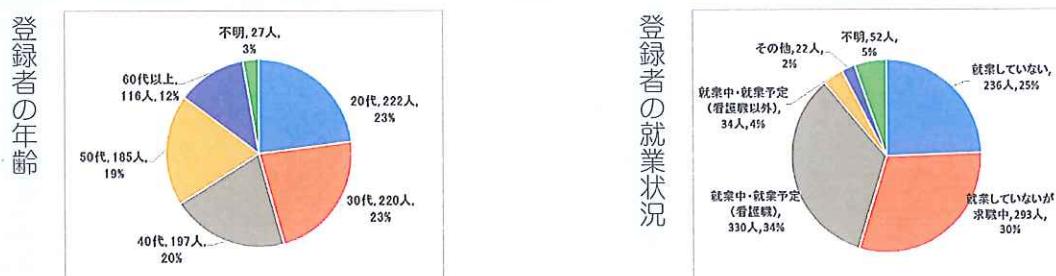
新潟県ナースセンターでは、南魚沼相談窓口（南魚沼市立ゆきぐに大和病院内）、柏崎相談窓口（柏崎市役所内）、上越相談窓口を開設し相談しやすくなりました。

上越相談窓口は平成29年5月16日（火）から「上越市市民プラザ 2階」に移転し、多くの看護職や施設の方々にご利用いただいてあります。

※開催日が異なりますので詳細はナースセンター（☎025-233-6011）までお問い合わせください。

届出制度（とどけるん）登録状況（2015年10月1日～2017年6月30日）

登録者数 967人
施設責任者代行登録数 370人（病院35、介護施設6、クリニック1、法人等7施設）



登録者の住所地（保健所管轄区域別）



施設管理者の皆様へ

今年度も「看護職員施設需要調査」にご協力いただきありがとうございました。

新刊 図書案内

No.	題名	編著者	出版社
1	暴言・暴力・ハラスメントから職員を守る段階的対応	井上法律事務所 弁護士 井上清成 編著	日本看護協会出版会
2	新人ナースの心構え 第2版	編集 高橋恵子	〃
3	がん体験者との対話から始まる就労支援	小迫富美恵・清水奈緒美〔編〕 神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会 就労支援ワーキンググループ〔協力〕	〃
4	多職種チームで取り組む認知症ケアの手引き	編集 鈴木みづえ	〃
5	看護法令要覧 平成29年度版	編集 勝又浜子・門脇豊子・清水嘉与子・森山弘子	〃
6	在宅看護の実習ガイド	編 清水準一 柏木聖代 川村佐和子	〃
7	平成28年 看護関係統計資料集	日本看護協会出版会 編集	〃
8	認知症 本人と家族の生活基盤を固める多職種連携	編著 山川みやえ 繁信和恵	〃
9	看護職者のための政策過程入門 第2版	執筆 見藤隆子 石田昌宏 大串正樹 北浦暁子 伊勢田暁子	〃
10	精神看護キーワード	川野雅資：総編集	〃
11	第2版 ナースのための退院支援・調整	監修 一般社団法人全国訪問看護事業協会 編集 篠田道子	〃
12	The外来看護	数間恵子 編著	〃
13	「生きる」を考える	長江弘子 編集	〃
14	新人・学生の思考力を伸ばす指導	阿部幸恵	〃
15	地域包括ケア時代の地域に根ざした医療の創り方	櫃本真聿	日 総 研

平成29年度 看護協会の紹介

役員



左から、太田、中山、若槻、星野

太田専務理事、中山常務理事が新しく就任せました。新しい体制で会員の皆様と共にいきいきと活動していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

総務課

総務課



左から、青木、安達、高橋、立川、渡辺

総務課をご紹介します。
総務係は、会員の皆様の入会案内・登録等の手続き、並びに職能委員会や各種委員会に関する業務を担当しております。

経理係は、本会並びに各支部・訪問看護ステーションの予算・決算等会計に関する業務を担当しております。本会の運営等に関するご不明な点がござればいつでも連絡ください。お待ちしております。

教育研修課



後列左から、石田、小川、中川
前列左から、岡田、山田

主に認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル研修の企画・運営と臨地実習指導者養成講習会を行っています。皆様のニーズを知り、教育の企画に活かしていきたいと思います。宜しくお願ひいたします。



左から、広井、久保

10月2日（月）から、緩和ケア認定看護師教育課程を開講致します。受講生の学びが豊かになるよう学習環境を整えていきたいと思います。今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願い致します。

訪問看護推進課



左から、小林(博)、松井

私たちは訪問看護従事者研修会（実践編・管理編）、在宅看護研修会の企画・運営、訪問看護実態調査を担当しています。また訪問看護が体験できる“訪問看護教育プログラム”的受付もしており、一人でも多くの訪問看護師仲間を増やすために日々取り組んでいます。「訪問看護なんでも相談」の担当です。お気軽にお問合せください。

あなたの周りに、お仕事を探している看護職の方はいませんか。ナースセンター、各相談窓口をご紹介ください。

新潟県ナースセンターは、県内就業の看護職を応援します。

ナースセンター課



左から、倉島、大田、本間、小林(カ)

追加研修のお知らせ 教育研修課より

- ① H29／11／5（日） 9:30～17:00 重症度・医療・看護必要度ステップアップ研修
- ② H30／3／30（金） 9:30～17:45 診療報酬・介護報酬改定説明会
- ③ H30／4／7（土） 9:30～17:45 診療報酬・介護報酬改定説明会

*②③は同内容となっています。 *詳細はHPで確認（8月中旬にアップ予定です。）

緩和ケア認定看護師教育課程のご案内

平成30年度入学相談会を12月に行います。詳細な内容については、11月初旬にHPに掲載致します。

研修会のお知らせ！ 労働環境推進委員会より

11月22日（水）ワーク・ライフ・バランス「3年目の取組とこれから」発表及び社会保険労務士と医業経営コンサルタント講演も予定しております。詳細はホームページをご覧ください。

推薦委員会からのお知らせ

平成30年度公益社団法人新潟県看護協会の改選役員及び委員を公募いたします。詳細はHPをご参考ください。

「ナースシップ」よりお知らせ

✿ 入会の手続きはお済みですか？



◎ 入会は随時受け付けています。

入会の手続きがお済みでない方は、お早目に手続きをお願いします。
入会申込書がお手元にない場合は、新潟県看護協会へご連絡ください。

✿ 登録内容に変更はありませんか？



◎ 正しい内容が登録されていないと、協会ニュースや次年度のお知らせなど、必要な情報がお手元に届きません。

登録内容に変更があった場合は、下記のいずれかの方法で届出をお願いします。

①「**キャリナース**」に登録し、そこから変更する。

②「会員データ異動届」（新潟県看護協会HPよりダウンロード可）を新潟県看護協会へ郵送またはメール、FAXする。

※11月頃に登録施設へ次年度の継続のご案内をお送りします。

登録施設に変更がある場合は、お早目に届出をお願いします。

「教育研修申込システム」及び「コンビニ収納サービス」について

～平成29年7月より「教育研修申込システム」がスタートしました！～

開始より1週間で100件以上のWeb申込がありました。

みなさま、ご協力頂きありがとうございます。

お知らせとお願い

研修申込み締切り後、当月末までは申込みのキャンセルを受付け致します。

申込み締切後、翌月初めには「払込取扱票」を発行させていただきます。

発行後の金額の変更はできませんので、ご注意ください。

また、受講者の変更等は隨時受付いたしますので、従来どおりご連絡をお願いします。

*申込み期間の延長等で変更可能な期間が上記とは異なる場合もございます。ご了承いただき、変更は早めにご連絡をお願いします。

ご利用にあたり、多く寄せられているご質問

Q1 インターネットが使えないのですが…

A1 従来通りの方法でお申込み下さい。研修計画冊子の巻末に様式の掲載がございます。



Q2 払込は銀行でも出来ますか？

A2 銀行でも出来ます。手数料はご負担下さい。

Q3 8月の研修会の受講料はどうすればよいですか？

A3 8月開催の研修までは、従来通り研修日に受付で徴収させていただきます。

コンビニ収納が可能になるのは9月開催の研修からです。今しばらくお待ちください。

Q4 支払いは何時までにすれば良いのでしょうか？

A4 研修開催日の5日前までにお願いいたします。

その他、詳細は新潟県看護協会HPの研修申込方法にご案内しております。

ご不明の点やお困りの点等ございましたらお気軽に下記までご連絡下さい。

公益社団法人 新潟県看護協会 教育研修課 石田

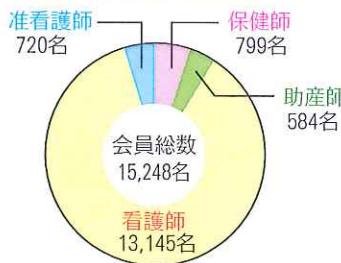
TEL : 025-265-1344 / FAX : 025-233-7672



協会事務局各部署の電話番号

総務課	電話 (025) 265-1225 / (025) 233-6550 FAX (025) 266-1199
ナースセンター課	電話 (025) 233-6011 FAX (025) 265-4188
訪問看護推進課	電話 (025) 265-4188 FAX (025) 233-7672
教育研修課	電話 (025) 265-1253 / (025) 265-1254 (025) 265-1256 / (025) 265-1343 (025) 265-1344 教育担当事務 FAX (025) 233-7672 / (025) 266-1199

新潟県看護協会会員数 平成29年8月7日現在



会員総数 15,248名

保健師	799名
助産師	584名
看護師	13,145名
准看護師	720名

編集後記

6月から新しいメンバーが3人加わりました。第132号では「カンゴサウルス賞」を受賞した4施設について取り上げました。今年度は生き生きと働くスタッフに焦点を当てて施設紹介をしていきたいと思います。他にも協会だよりで取り上げてほしい「テーマ」がありましたら広報までお寄せください。 koho@niigata-kango.com

広報委員：長濱、坂井、木嶋、北原、神田、竹山